

## 2023年度 第4回 鋼構造座屈小委員会議事録(案)

1. 日時 2023年12月27日(金)16時00分～19時30分
2. 場所 日本建築学会 307会議室, Zoom のハイブリッド
3. 出席者 五十嵐規矩夫, 宇佐美徹, 金尾伊織 (主査), 木村祥裕, 倉田真宏, 小橋知季  
田川浩, 中澤祥二, 松井良太, 城戸將江 (記録)  
(敬称略, 下線は欠席者)

### 4. 配付資料

- 04-00 2023年度第4回鋼構造座屈小委員会議事 (金尾)
- 04-01 2023年度第3回鋼構造座屈小委員会議事録案 (城戸)
- 04-02 鋼構造運営委員会2023年度第3回議事録 (案) (金尾)
- 04-03 刊行委員会検討依頼書 (金尾)
- 04-04-01 座屈設計指針のアンケート結果 (金尾)
- 04-04-02 座屈設計指針の改定方針に関するメモ (金尾)
- 04-05 座屈指針イメージ案\_第2章\_松井
- 04-06 座屈指針イメージ案\_第3章\_倉田
- 04-07 座屈設計指針イメージ案 4章・7章 (金尾)
- 04-08 鋼構造座屈設計指針第5章柱材目次案 (城戸)
- 04-09 座屈指針イメージ案\_第6章\_小橋
- 04-10 座屈指針イメージ案\_第8章\_田川
- 04-11 国際化WG議事録 (案) \_2023年度第5回\_20231121 (1)

### 5. 議事内容

#### 資料04-01

- ・資料04-01に基づき前回議事録の確認を行い, 承認された.

#### 資料04-02

鋼構造運営委員会 (12/8) について, 金尾主査より報告がなされた. 座屈設計指針の分冊について, 教科書以外の名称とするよう議論してほしいとの要望があったとのこと. ただし, 分冊を作ることに對しての異論はないようである.

#### 資料04-03

刊行委員会への検討依頼文について, 金尾主査より説明がなされた. 次回の刊行委員会に提出されるのではないかとと思われる.

#### 資料04-11

倉田委員より国際WGの活動内容について報告がなされた.

- ・小委員会内査読が進行中である.
- ・専門用語としてLoad, Strengthのいずれを用いるのか審議した. Load, Strengthを使い分ける必要があるため, 今後, 倉田委員と松井委員で精査することとなった.
- ・7章 (2013年の10章, 2022年の5.5節) については英文化を取りやめる.

#### 資料04-04-01, 04-04-02

座屈設計指針の改定方針について, 金尾主査より説明がなされた. 木村前主査より提示された, 座屈設計指針の位置づけ, 諸問題との関係性について確認し, 現在委員会で考えている方向性と一致していることを確認した.

構造設計者に回答依頼をしたアンケート結果（回答数67名）について、金尾主査より紹介された。回答者の約75%が指針を使用している。しかし、座屈設計指針はすべての構造設計者が使うことを想定するのではなく、構造設計者からの高度な要求にこたえられるような内容とする。

宇佐美委員によれば、吹抜け長柱に関する質問、スラブがない場合、横座屈補剛ができない場合にどのようにすればよいか、という質問がよくあるとのこと。短期の場合に、柱材の座屈長さが階高以下にできることは便利である。

座屈設計指針の全体構成について、木村委員より説明がなされた。部材では耐力、変形性能の評価式を提示するのは比較的容易であるが、骨組などは難しい。先に部材のところを確定させ、骨組などはそれを受けて内容を決めていくこととなった。

圧縮材とブレース、梁材、柱材と板材の二つのグループを作り、内容の検討および決定をすることとなった。圧縮材・ブレースグループは、木村委員、倉田委員、松井委員、梁材・柱材・板材グループは、金尾主査、木村委員、小橋委員、城戸とする。

第7章について、塔状トラスの項は利用されている。平面トラスの内容については保留とするが、松井委員の知り合いの方を紹介していただくこととなった。プロフィールを金尾主査、城戸（幹事）に送付する。

#### 資料04-05～04-10

各担当者より、指針のイメージについて説明がなされた。主な内容あるいは意見を記す。

(圧縮材)

- ・補剛の項がないが、補剛を別の章にするという方法もある。

(ブレース)

- ・倉田委員の提案は、他の指針が変更された場合でも対応させやすいように最初に設計ルートを示すものである。また、時刻歴応答解析を用いた設計がなされることを考慮し、履歴モデルについても含めている。
- ・2章と3章の重複分は、2章参照としてもよい。
- ・ブレース付き骨組は、骨組の章に入れてもよい。

(梁材・柱材・板材)

幅厚比指標 $W_F$ が板材に示されているが、梁材、柱材でも用いられており関連性がある。柱材の変形性能は、佐藤篤司先生の式を用いることを考える。

(骨組)

解析方法を載せていくことになるのではと考えている。

#### 次回委員会に向けて

・圧縮材・ブレースグループ、梁材・柱材・板材グループは、次回委員会までに適宜打ち合わせを行い、指針の構成について決定する。

#### 6. 次回小委員会予定

日時：2024年4月～5月で日程調整する。

場所：対面あるいはハイブリッド